



# あずっ子

入間市立東町小学校学校だより

12月1日発行

発行者 校長 野口正孝

こどもも おとなも 元気いっぱい 東町小!

在籍児童数475名(12/1現在)

## 一步一步着実に

保護者の皆様には日ごろから学校へのご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。11月15日に市内音楽会が開かれ、6年生が武蔵野音楽大学のバッハザール音楽堂で歌声を発表してきました。どの学校も素晴らしい歌声を響かせていましたが、本校の6年生も堂々とした態度で音楽堂に響き渡る歌声を披露してくれました。6年生の歌声に感動し、涙があふれました。子どもたちの頑張る姿に、あたためて元気をもらいました。2学期も残り1か月。学習や生活のまとめをしっかりと、新年を迎えてほしいと思います。

さて私事ですが、コロナ感染症も落ち着いた秋ごろから登山を始めました。目標は来年の夏に、富士山に登ることです。近所の友達に誘われたのがきっかけでした。まずは低い山から始めています。9月に三峰神社奥宮、10月に高尾山と長瀬アルプス、11月に棒ノ山と登り、今月は武甲山に登る予定です。山登りの魅力はいくつかあると思いますが、私が一番に感じることはその達成感にあります。年齢を重ねてくると、できることよりもできなくなることのほうが多くなります。私自身も体力の衰えは否定できません。できるだけ運動習慣を崩さないよう1日30分程度のウォーキングやスポーツジムにも通っていますが、もう子どもたちと一緒に遊ぶ体力はもうないようです。しかし、山登りは自分のペースで取り組むことができ、目に見える形で達成感を味わうことができます。頂上まで登るという目標を設定し、途中苦労しながらもゴールに達成した充実感は格別です。また、変化に富んだ景色を見ることも山登りの楽しみの一つです。11月の棒ノ山登山では、途中沢登りがあり、それを過ぎるときれいな紅葉を見ることができました。山頂では関東平野が一望でき、遠くは神奈川方面も見ることができました。バーナーでお湯を沸かし山頂で食べるカップ麺は、景色も調味料の一つとなり、大変おいしく感じました。

そのようなわけで楽しい山登りなのですが、実は苦手なものがあります。それは長く続く階段です。上り坂は比較的余裕をもって登れるのですが、山道の階段は段差が大きく、登るのに苦労します。長瀬アルプスではあと600mというところで、最後の頂上まで階段が続きます。途中で休憩を入れながら登るのですが、登れど登れど階段は続きます。やっと登り切り、平たんになったと思った矢先に、また延々と続く階段が目に入ります。あそこまでまた階段を登るのかと思うと、心が折れそうになりました。高尾山の階段もそうでしたが、長く続く階段にはいつも苦労させられます。そんな時に、ふと良い方法を思いつきました。それは階段のゴールを見ずに、一步一步着実に登っていくということです。そして疲れたら休む。そして登ってきた道を振り返ってみる。そうすると自分がどれくらい登ってきたかを確認でき、よし、また頑張ろうという気持ちになれます。登っていく距離も高さも変わらないのですが、こうすることでいくらか心が楽になり、苦手意識が少し薄れました。

子どもたちは毎年、毎学期、生活や学習、運動などの目標を立てます。しかし、ゴールばかり見て足元の一步をおろそかにしては、なかなか目標を達成できないと思います。時々振り返って今までの成果を確認し、再度目標に向かって進んでいく。こうした繰り返しが目標を達成できることにつながるのではないかと思います。結局、一步一步着実に進むことが、目標達成の近道なのかもしれません。

12月は2学期のまとめの学期です。今学期の生活や学習を振り返って、3学期への意欲を喚起するチャンスです。しっかりまとめに取り組んでほしいと思っています。

